

# CASBEE<sup>®</sup> 新築 [簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)山手西マンション計画	階数	地上15F
建設地	京都府京田辺市山手西1丁目1番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域 法22	平均居住人員	150人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年4月4日
敷地面積	5,777 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社東洋設計事務所
建築面積	1,101 m <sup>2</sup>	確認日	2016年4月4日
延床面積	11,880 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社東洋設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

- ① 参照値: 100%
- ② 建築物の取組み: 39%
- ③ 上記+②以外の: 37%
- ④ 上記+: 37%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 街並みに対する建築物の修景について、周辺環境に配慮している。また、室内外における良好な生活環境の形成を目標とした設計を行った。		特になし
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆の規格に適合した建築材料を全面的に利用することで、空気環境について配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 京都府福祉のまちづくり条例に準ずる配慮を行った。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 植栽を敷地内に分散配置することで、良好な環境を形成するために配慮を行った。
<b>LR1 エネルギー</b> 日本住宅性能表示基準の住宅性能評価省エネ対策等級3とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車スペースを確保することで、敷地周辺への交通負担抑制に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される